

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第1区分

【発行日】平成25年11月28日(2013.11.28)

【公開番号】特開2012-101957(P2012-101957A)

【公開日】平成24年5月31日(2012.5.31)

【年通号数】公開・登録公報2012-021

【出願番号】特願2010-250133(P2010-250133)

【国際特許分類】

C 0 3 B 32/02 (2006.01)

C 0 3 B 13/00 (2006.01)

【F I】

C 0 3 B 32/02

C 0 3 B 13/00

【手続補正書】

【提出日】平成25年10月11日(2013.10.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0034

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0034】

フォーアハース12から流出した熔融ガラスは、その運搬方向下流側に配置された失透防止装置13に流入する。失透防止装置13には、保温装置13a、リップ13b、サポーター13c及び発熱ユニット13dが取り付けられている。

保温装置13aは、熔融ガラスを保温して所定温度に保持する。リップ13bは、熔融ガラスをロールアウト成形装置14に誘導する。サポーター13cは、リップ13bを支持する支持体である。発熱ユニット13dは、サポーター13cを貫通して設けられた加熱装置であり、発熱ユニット13dによってサポーター13cとリップ13bとは加熱される。

失透防止装置13は、保温装置13aによる保温と発熱ユニット13dによる加熱によって、ロールアウト成形装置14に導入される前の熔融ガラスを所定温度に保持し、熔融ガラスの失透を防止する。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0046

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0046】

11・・・溶解装置

12・・・調整装置(フォーアハース)

12a・・・液面制御装置

12b・・・攪拌装置

12c・・・発熱体

12d・・・熱電対

13・・・失透防止装置

13a・・・保温装置

13b・・・リップ

13c・・・サポーター

- 1 3 d . . . 発熱 ユニット
- 1 4 . . . ロールアウト成形装置
- 1 4 a . . . 上側ローラ
- 1 4 b . . . 下側ローラ
- 1 4 c . . . 冷却水箱
- 1 5 . . . 運搬装置
- 1 6 . . . 押さえローラ
- 1 7 . . . 結晶化装置 (ローラハースキルン)
- 1 8 . . . 加熱ユニット
- 1 9 . . . 運搬ローラ
- 2 0 . . . 熱電対
- 2 5 . . . 保温領域
- 2 6 . . . 徐冷領域
- 2 7 . . . 切断装置
- 2 8 . . . 攪拌装置
- A 带状板ガラス
- B 带状結晶化ガラス板
- C 切断された結晶化ガラス板